

東吉野村＜つくばね発電所＞復活プロジェクト 「村内説明会」

を開催します！

誰でも参加、応援できる「市民出資」のお話もあります。



大正時代より村に電力を供給していた 「つくばね発電所」

奈良県東吉野村では、地域に電力を供給するために大正時代より水力発電事業が行われてきました。大正元年、当時の地元有力者である船津弥八郎氏によって「吉野水力電気株式会社」が設立され、大正3年より「つくばね発電所」が稼働していました。その後、関西配電から関西電力に移行し、つくばね発電所は昭和38年に閉鎖となりました。

半世紀の時を経て復活する水力発電

東吉野村は近年過疎化が進み、1970年には人口が7,028人でしたが、2010年には、2,143人となり、2035年には897人まで減少することが予測されています。このままでは、集落を維持できないという課題があります。東吉野村には各区内に幾筋も谷川があります。この水資源を活かした地域づくりを計画し、村民が一丸となって地域づくりを行うことを目的に、平成25年8月「東吉野村小水力利用推進協議会」を設立しました。そして、東吉野村が「生き生きと笑顔あふれる村」となることを推進するために「つくばね発電所」を復活させるプロジェクトが始動しました。

＜説明会日程・会場＞

- 会場 東吉野村商工会館2階
- 日時 9月11日（金） 19:00～

※事前の申込みは必要ありません。

※気軽にお問い合わせの上、お越し下さい。
皆さまのご来場をお待ちしています。

東吉野村小水力利用推進協議会・東吉野水力発電株式会社 共催

お問合せ先：090-3050-9045（森田）